



げんきな子 がんばる子 やさしい子

園だより

10月号

北区立さくらだこども園
園長 西澤 尚子

体を動かすことが楽しい！

日中の蒸し暑さは残るものの、朝夕の風の爽やかさに秋を感じるようになりました。戸外で思い切り体を動かすことが楽しめる季節です。

さくらだこども園では、今、5歳児が『さくらだオリンピック』に向けてリレーやリズム表現、係の仕事などに取り組んでいます。4、3歳児の子どもたちは、園庭のトラックで毎日リレーをする5歳児を、じーっと見つめたり、遊びながら目にしたりしています。5歳児みんなが園庭で「いっとうしょう体操」をしていたときには、横で一緒に自分たちも踊っていました。こうして、リレーや体操、リズム表現を堂々と、のびのびとする5歳児に憧れて、3、4歳児も友達と一緒に走ったり、体をいっぱい動かしたり踊ったりしている姿が園内のあちこちで見られます。

5歳児のリレーは、始めは隣を走る友達との1対1の競走にだけこだわっていたところから、繰り返し走る中で、チームの友達を応援したり、なかなか走る気持ちにならない友達を誘ったり、友達と一緒にチームで走るということを少しずつ感じてきている様子が見られます。勝敗がつくことで、悔しい思いも体験しますが、それが友達と一緒に考え、自分の力を精一杯発揮して力を合わせる楽しさに繋がっていています。

4歳児はよく踊っている体操を、時々、楽器を持って踊っています。それぞれに、何種類かの楽器の中から好きなものを選んで鳴らしているので始めは音が揃わず、耳を塞ぐようにしていた幼児もいました。けれど、何度もそうやって楽器を持って体操やリズム表現の曲で踊っているうちに、それぞれの鳴らし方は違っても、動きに合う鳴らし方は曲に合ってきて、みんなが笑顔で踊りと楽器遊びを一緒に楽しむようになっていました。

運動会は、何かができるように、または保護者に見せるためにするものではありません。体を動かすことの楽しさ、友達と力を合わせることの充実感や自分の力を出した満足感を体験してほしいと願って行っています。その心もちが大人になっても体を動かすことを楽しめる基になると考えています。ぜひ、子どもたちが楽しむ姿を応援して、見守っててください。



—今月の指導のめあて—

- 〈3歳児〉
 - ・かけっこやリズム遊びなど、保育者や友達と一緒に、体を動かして遊ぶことを楽しむ。
 - ・なりたいものになりきって、身近なものを身に付けたり、自分なりに動いたりして楽しむ。
 - ・木の実で遊んだり、トンボを見たり、季節の食べ物を知ったりして秋の自然に親しむ。
- 〈4歳児〉
 - ・保育者や友達と一緒に伸び伸びと体を動かしたり、好きな遊びを繰り返し楽しんだりする。
 - ・運動会の取り組みの中で、学年や学級みんなで活動することを楽しむ。
 - ・葉や木の実など、園庭の自然に触れ、季節の変化を感じたり、遊びに取り入れたりする。
- 〈5歳児〉
 - ・遊びや生活の中で必要なことを考え、自分から行動しようとする。
 - ・運動会の取り組みの中で、伸び伸びと表現したり、自分の力を発揮したりする。
 - ・共通の目的に向かって、友達と力を合わせて取り組んだり競い合ったりする中で、満足感や充実感を味わう。